

2019年度 発達支援つむぎ 宮下ルーム 職員アンケート改善策報告

いつも発達支援つむぎをご利用いただき、ありがとうございます。利用者アンケートの結果および改善策の報告をいたします。
 今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長または職員にお気軽にお知らせください。

	質問内容	平均スコア	改善策・ご意見への対応について
環境・体制設備について	1 入口や指導室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、お父さまが活動するに当たり安全な環境であるか。	3.7	清掃に関しては時間を決め、清掃道具も吟味するなど安全で快適な環境のために改善を重ねてきました。今後も常に改善点はないか意識しながら環境整備に努めてまいります。
	2 職員の配置数、職員の専門性は適切であるか。	3.7	今年度より職員を1名増員し、さらに充実した人員体制となっております。また職員一人ひとり学びの計画を立てており、今後もさらに支援の知識や技術の向上に努めてまいります。
	3 ルーム内の環境や指導員の人員体制について、ご意見をお聞かせください。		
業務改善について	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参加しているか。	3.8	つむぎ職員間での情報共有のほか、併設の保育園職員との情報共有も今後強化してまいります。
	5 保護者にアンケート調査等を行い、保護者の意向や意見を把握し、業務改善につなげているか。	4.5	今回の利用者アンケート、また行事ごとのアンケート等、毎回貴重なご意見を頂戴しております。いただいたご意見は改善に生かしていきたいと思っております。
	6 この自己評価表の結果を事業所内掲示やホームページなどで公開しているか。	4.5	カフェスペースに掲示のほか、ホームページで公開しております。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4.0	昨年度、行政の監査を受けました。その評価結果は業務改善につなげてまいります。
	8 職員の資質、療育スキル向上のため研修の機会を確保しているか。	3.8	法人では、子育てスキル講座をはじめ様々な研修機会が用意されており、またルーム独自でも毎月勉強会を開催しております。職員は各自の興味関心や課題に応じた学び計画を立てており、こういった研修への参加をはじめ、その他自主的にもますますの研鑽に努めてまいります。
	9 業務改善について、ご意見をお聞かせください。		業務について気づいた事がある場合、その都度報告し迅速に改善するよう努めています。
適切な支援の提供について	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	3.8	共通のアセスメントツールを使用し、マンスリーのお父さまは3ヶ月に一度、ピジターのお父さまは6ヶ月に一度を目処に、お父さまの発達の状況を図ってまいります。
	11 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	4.0	アセスメント後、策定会議を行った上で個別支援計画を作成しています。
	12 グループ指導や個別指導のプログラムは、支援目標に沿ったものになっているか。	4.0	グループ、個別ともに6ヶ月ごとに支援目標を立てておりますが、お父さまの成長の具合に合わせて柔軟に変更したり、成長をとらえやすくするため、さらに短期間でのスモールステップの目標設定も加えるなど努めてまいります。
	13 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4.0	固定担当制にせず様々な職員が関わること、室内・戸外のプログラムを取り入れること、併設の保育園児と関わること等、お父さまが様々な人との関わりの中で1つでも多くの本物の体験ができ、生きる力につながっていくよう、工夫してまいります。
	14 プログラム開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる内容や役割分担について確認しているか。	4.2	プログラム内容について打ち合わせするとともに、予め決めたプログラムの進行にとらわれず、お父さまの様子によって臨機応変に対応できるよう、職員間で役割分担や支援目標について確認してまいります。
	15 支援終了後には、職員間で必ず支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか。	4.2	毎日、職員間で支援の振り返りを行っているほか、今後はケース会議の回数も増やし、より密度の濃い情報共有や支援の向上に努めてまいります。
	16 日々の支援内容を正しく記録し、支援の検証・改善につなげているか。	4.0	支援内容や保護者さまとお話した内容は正しく記録し、その後の支援へとつなげていけるよう今後も努めてまいります。
	17 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適用期間内に次期個別支援計画の説明ができていくか。	4.2	今後も、定期的にモニタリングを行い、適用期間内に次期の個別支援計画を提示できるよう今後も努めてまいります。
	18 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか。(自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供など)	3.8	児童発達支援ガイドラインに従い、活動を複数組み合わせ、支援を行うよう今後も努めてまいります。
19 適切な指導の提供について、ご意見をお聞かせください。			
関係機関や保護者	20 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4.2	指導の振り返りの時間に丁寧に保護者さまと状況や課題を共有するよう努めております。また、相談支援加算の制度利用についても積極的に提案してまいります。
	21 所属の幼稚園や保育園等と連携し、相互理解や支援のアドバイス等に努めているか。	4.0	関係機関連携加算の制度を説明し、所属園との連携を提案してまいります。
	22 児童発達支援事業所同士で連携をとり、情報共有、相互理解に努めているか。	4.2	協議会などの機会を利用するほか、個別に他事業所と連携をとり、情報共有に努めてまいります。
	23 児童発達支援事業所から放課後等デイサービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか。	3.7	セルフプランでの利用者さまが多いため、情報からの孤立が起こらぬよう保護者さまへの情報提供を積極的に行ってまいります。また、地域の放課後等デイサービスとの連携も今後図っていきたく思います。
	24 児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	3.0	地域の児童発達支援センターや児童発達支援事業所と連携し、情報共有をしております。

	質問内容	平均スコア	改善策・ご意見への対応について
との連携について	25 地域自立支援協議会や社会福祉協議会など、地域連携を図るような会議に積極的に参加しているか。	2.7	地域の特別支援共有会議に年一回参加しております。また、近隣市の子ども部会などへの参加も積極的にしてまいります。
	26 障害のない子どもと活動する機会を設けているか。	4.8	保育園併設という環境を生かし、子ども同士お互いに成長しあう機会を今後もより一層提供できるよう努めてまいります。
	27 事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を行っているか。	3.7	子育て支援センターと連携し、地域のお子さまや保護者さまが気軽に参加できるような行事を今後も企画してまいります。
	28 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニングなどの支援を行っているか。	2.8	現在は、振り返りの時間などで、お子さまとの関わり方を相談させていただくことが主ですが、今後は、外部講師を呼んでの研修等ペアレントプログラムの開催についても検討いたします。
	29 関係機関や保護者との連携について、ご意見をお聞かせください。		
保護者やお子さまへの対応などについて	30 契約、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか。	4.3	安心してご利用頂けるよう、契約時には分かりやすく説明するよう心がけております。利用開始後でも、ご不明な事があればいつでもお訊ね下さればご説明させていただきます。
	31 保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3.8	通常は振り返りの時間に保護者様からのご相談にも応じておりますが、まとまった時間でのご相談を希望される場合、「相談支援加算」という制度を利用し、30分程度の面談をすることができます。ご希望の場合はご相談ください。
	32 保護者同士が集まれる場の提供など、保護者同士の連携につながる支援を行っているか。	3.8	OBも含め、年に数回の保護者交流の場を設けております。年長児につきましては、就学についての説明会なども行ってまいります。来年度の保護者会スケジュールも早めにお知らせさせていただきます。
	33 お子さまや保護者様からの苦情があった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	4.0	頂いたご意見は、その日のうちに全スタッフ間で共有させて頂き、迅速に対応させていただきます。小さなことでも気になることがありましたらいつでもお伝えください。今後とも信頼されるルームを目指していきたいと思っております。
	34 掲示物やホームページなどで、活動内容やイベント開催告知など、お子さまや保護者様に対して情報を発信できているか。	4.0	告知に関しては主に配布文書で、また活動報告に関しては今年度よりつむぎのブログを開始しております。ぜひご覧下さい。また告知に関してご不明な点があればいつでもお気軽にお声がけください。
	35 障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。(例：分かりやすい言葉かけをしているか、専門用語を使い過ぎていないかなど)	4.2	今後も日々への対応を振り返りながら、誰にでも伝わりやすい意思疎通ができるよう努めてまいります。
	36 個人情報の取扱に十分注意しているか。	4.3	記録用のパソコンは各個人のログインIDとパスワードがあり、他者が開くことのできない仕様になっております。また個人記録ファイルは鍵付きの書庫で厳重に保管しております。
	37 職員同士の連携や情報共有は適切に行われているか。	4.2	毎日朝礼と夕礼で情報共有を行っております。休み明けの職員にも情報共有が徹底されるよう、業務日報への記載もしっかりと行い、確認を努めてまいります。
38 保護者やお子さまへの対応などについて、ご意見をお聞かせください。			
非常時の対応について	39 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを、把握できているか。	3.8	法人共通の各種マニュアルがございます。職員間で定期的に読み合わせやロールプレイを行うなど、いざという時に適切な対応ができるよう努めてまいります。
	40 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	4.2	月一回、保育園と合同で、様々な状況を想定しての訓練を行っております。
	41 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	3.5	今後、県主催の虐待防止研修に参加し、職員間で意識を高めてまいります。
	42 ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか。	3.5	保育園と共有でのヒヤリハット報告書があり、共有を行っています。日々、様々な場面に隠れた小さなヒヤリハットを事前に見つけ安全にお子さまが活動できるよう、職員の意識を高めてまいります。
	43 非常時の対応について、ご意見をお聞かせください。		普段より、毎月様々な想定をしての避難訓練を行っております。今年は台風による停電などの非常事態がありました。非常時の対応について改めて見直し、安心してお子さまを預ける事ができるよう努めてまいります。
満足度について	44 利用児はつむぎに楽しく通っていると思うか。	4.3	つむぎに通うことを楽しみにしているとお声を多数頂戴しております。子どもの気持ちを真ん中に置き、そこから成長していくことができるような支援となるよう、職員一同今後も努めてまいります。
	45 つむぎの支援を通して、利用児の変化や成長を実感することがあるか。	4.3	その日のお子さまの様子や保護者さまからの情報を、記録とともに毎日職員間で共有しております。成長を感じるエピソードなど、保護者さまと一緒に成長を喜ぶことができるよう今後も努めてまいります。また、研究機関と連携して成長の軌跡を客観的にも検討・研究し、児童発達支援の業界全体の質の向上も目指していけるよう努めてまいります。
	46 設問事項に関わらず、ご意見・改善点などなんでもお聞かせください。		